

## 中期目標の達成状況に関する評価結果

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>  (Ⅲ) その他の目標  (1) 地域を志向した教育・研究に関する目標  ①地域社会との連携強化 地域社会との連携を強化するための体制を整備する。  3-1-1-2 地域の声をワンストップで受け止める体制を整備し、地域のニーズの把握と本学のシーズの提供を行う。</p> <p><b>【原文】</b>  該当箇所なし</p> <p><b>【申立内容】</b>  当該中期計画の段階判定を修正願いたい。</p> <p><b>【理由】</b>  本計画に記載している、ワンストップ窓口（COC実行本部及び地域・社会連携室）による地域のニーズ把握及び本学のシーズ提供は、単なる体制整備や情報交換にとどまらず、様々な具体の地域貢献事業として結実している。  それらの取組については、例えば、中期計画3-1-2-2の「地域貢献加速化プロジェクトの実施」や中期計画3-2-1-2の「地域のニーズに合った教育プログラムの実施」として記載しており、いずれも評価結果（案）において（優れた点）として取り上げられている。  これらの事業による地域ニーズと本学シーズのマッチングへの自治体からの評価は資料：社1-1-2-1記載の高い満足度や資料：社1-2-2-2記載の自治体からの表彰が示すとおりである。これらの事業は各自治体の長と本学学長をメンバーと</p>	<p><b>【対応】</b>  原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b>  達成状況報告書等では当該中期計画に係る取組が確認できるものの、意見の内容を考慮しても、その成果が「優れている」とまではいえない。</p>

するCOC実行本部と地域連携に専属で従事する地域・社会連携室の体制によるワンストップの地域ニーズと本学シーズのマッチングを行わなければならなかったことであり、上述の事業の実施及びそれに対する高い評価が本計画における取組の成果及びエビデンスである。

したがって、他の計画（3-1-2-2及び3-2-1-2）における具体の地域貢献事業が「良好」の判断の基準である「得られた成果が優れている」と判断されるのであれば、本計画の実施によって得られた成果についても「相応」ではなくむしろ「優れている」とみなされるべきであるため、段階判定は「おおむね良好」ではなく「良好」に修正すべきと考える。